

コープこうべ労働組合の北米流通事情調査をサポート！ ～兵庫県ワシントン事務所からの報告～



コストコ本社でのプレゼンテーション



コストコ本社玄関にて

6月2日、コープこうべ労働組合（神戸市東灘区）の訪問団9名が、米国ワシントン州にある兵庫県ワシントン州事務所を訪問されました。

生活協同組合コープこうべ（当時灘神戸生協）が1989年カナダのカルガリー生協と姉妹提携関係を結んだことに続き、以降コープこうべ労働組合（当時灘神戸生協労働組合）がカルガリー生協労働組合を訪問、これまで毎年労組員がカルガリーを訪れ交流を行っています。

今回はカルガリーを訪問する前に、北米の流通事情の調査のためワシントン州シアトル市を訪れました。当事務所では訪問の約半年前より同労働組合の依頼をうけ、訪問の目的や趣旨に合った研修になる様、調整を行ってきました。

まずは、当事務所への訪問の際、ワシントン州の概要、最新情報、現地の流通事情などの説明を行い、翌日はコストコホールセールの本社（イサクア市）に訪問し、担当者からコストコが世界で成功を続けている秘訣についてのプレゼンテーションや、従業員のモチベーションアップについて懇談を行なった後、店舗を見学し説明を受けました。

その後現地のスーパーマーケットを7店舗程度訪問し

実際に各店舗の説明を聞きながら見学したり、実際に商品を買ってみるなどを体験。計2日間でしたが、これらの経験を踏まえて次の訪問地であるカルガリーに向けて旅立たれました。

兵庫県ワシントン州事務所では、こうした訪問団の受け入れを随時受け付けており、現地で長年培ってきた経験とネットワークを使って、皆様の趣旨にあった実り多い訪問になる様、事前の相談、調整、同行などフルサポートを行っています。



ワシントン州の概要等のレクチャー



コープカルガリーを訪問